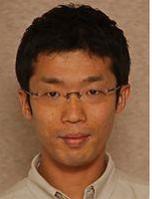


Funai Overseas Scholarship 交流会 in Washington D.C. (Aug.1-4,2014)

(敬称略)

年度	氏名/ 出身大学	写真	所 属	研究テーマ	コメント
【奨学生】					
2010	吉本英樹 ヨシモト ヒデアキ (東大)		Royal College of Art, Innovation Design Engineering学科、博士課程	Pulse and Rhythm as an Element of Design	工学修士（航空宇宙工学）のバックグラウンドを持ちながら、英国の美術大学にてデザインの博士課程に留学しています。研究では、自然や生命からインスピレーションを得た「リズム」をプロダクトデザインの素材の一つとして提唱しており、そのコンセプトを、工学技術を使いながら具体化し、例示しています。また研究と並行して、自己のデザインブランドをロンドンにて立ち上げ、ミラノの展示会で展示をする等、活動を始めています。
2011	方 弘毅 タカヒコ (東大)		MIT航空宇宙工学専攻	宇宙物流アーキテクチャの最適化	宇宙システムの研究開発をしています。特に現実的な予算の制約内で、どのようにより効率的に宇宙の物流システムを展開するか、そのためにどのような技術が必要か、それらの技術を地上のプロジェクトにも役に立てないか、そんなことを考えています。
2011	山本 薫 ヤマモト カル (京大)		University of Cambridge, Dept. of Engineering, Information Engineering, Control Group	集中質量系における振動伝達の有 界性と制御に関する研究	京都出身、同志社中学・高校卒、京都大学工学部建築学科卒、同大学大学院都市環境工学専攻修了。学部、修士の主な研究分野は建物の免震、制振構造でした。現在はイギリスのケンブリッジ大で制御工学を専攻しています。専門分野は振動制御です。
2012	荒木 淳 アラキ ジュン (東大)		カーネギーメロン大学コン ピュータサイエンス学部言語技 術研究所 Language Technologies Institute of the School of Computer Science at Carnegie Mellon University	領域知識と言語知識を用いた照応 関係の同定とその応用 Coreference Resolution and Its Application using Domain and Linguistic Knowledge	私は日本の大学院で修士課程を卒業し、社会人を経験した後、米国大学院の修士課程を修了し、現博士課程に所属しています。大まかには自然言語テキストからの情報抽出に関する研究を行っています。米国生活は5年ほどになります。交流会で皆さんにお話してできるのを楽しみにしています。
2012	佐藤徳之 サトウ トシキ (東北大)		Stanford University, Electrical Engineering Department	強磁性共鳴、スピンデバイス	この夏はオレゴンでインターン中です。二日間しか参加できませんがよろしくお願ひします。

Funai Overseas Scholarship 交流会 in Washington D.C. (Aug.1-4,2014)

(敬称略)

年度	氏名/ 出身大学	写真	所 属	研究テーマ	コメント
2012	潮田 佑 ゆたか じゆ (東大)		シカゴ大学経済学部	産業組織論・政治経済学	好きなアスリート：宮里藍 好きな食べ物：コーヒーアイスクリーム、サーモンのカルパッチョ 最近頻りに作る夕飯：麻婆豆腐 DCで飲みたいもの：屋外販売のレモネード 愛してやまない州：カリフォルニア 羨ましい人たち：バークレー生・USC生・スタンフォード生 寒いので早く脱出したい街：シカゴ 今一番欲しいもの：色々な会社が持っているデータ 今一番怖いもの：就職活動 もう二度とやりたくないこと：経済学大学院1年生 人生最大の決断：ロスではなくシカゴを留学先に選んだこと 人生最大のファインプレー：船井財団への応募 この交流会で成し遂げたいこと：参加者全員との会話
2012	長野光希 みつひろ (東工大)		南カリフォルニア大学 (University of Southern California, USC), Computer Science Department, USC Institute for Creative Technologies	実写のようなデジタルキャラクターのコンピュータグラフィクス(CG)の開発とディスプレイ	CG技術を使って、写実的な人間をデジタルに創ったり、表示したりするためのアルゴリズムやハードウェアの研究や開発をしています。1番最初にアメリカに来たいと思ったのは、中学生の時に、ハリウッド映画を作るためのCGを作りたいと思ったのが最初です。6歳から剣道をやっていて、アメリカでも続けています。
2012	西田祐木 ゆき じゆ (東大)		AglC Intl. Corp.	回路プリンタ、導電性ペンを利用した技術・製品の開発、会社経営	今年5月にCMUの修士課程を卒業し、知人が東京で立ち上げたスタートアップAglCのアメリカ法人CEOをしています。AglCでは回路を家庭用プリンタで印刷したり導電性ペンで書く事で簡単に作れるようにすることを目指しています。私はシリコンバレーを拠点に、アメリカや世界でのイベントに出展したり、ワークショップを開いて製品開発に携わっています。
2012	畠山大輝 ひらやま たい (東大)		カリフォルニア大学バークレー校機械工学科	シリコンフォトニクス。特に非線形光学現象を用いた光デバイス(増幅、波長変換、変調器等)をシリコンチップ上で作製することを目指しています。	機械工学科に所属していますが研究室はナノフォトニクスを主に扱っており、私自身も電子工学、応用物理寄りの研究をしています。皆様と多岐にわたる意見交換ができれば幸いです。

Funai Overseas Scholarship 交流会 in Washington D.C. (Aug.1-4,2014)

(敬称略)

年度	氏名/ 出身大学	写真	所 属	研究テーマ	コメント
2012	森 亮 モリ リョウ (慶大)		カリフォルニア大学バークレー校	光電子分光による相関電子系のエネルギー帯構造の分析	こんにちは、もりです。動物、虫、未確認生命体、宇宙人、UFO、古代文明の話をするのが好きです。仲良ししてくださいよろしくお願いします。
2012	山田倫大 ヤマダ リンダイ (北大)		University of Oxford, Department of Computer Science	Constructive Mathematics (構成的数学), Semantics of Computation (計算の意味論)	オックスフォードの博士課程2年目、山田倫大です。Math, Logic, CSの学際的な分野の研究を行っています。特に、構成的数学(数学を計算的に再構築)と計算の意味論(計算の数学的な定式化)が自分の中心的なテーマです。趣味は映画、音楽、サッカー、数学、哲学、お酒などです。どうぞよろしくお願い致します。
2013	猪爪宏彰 イヅナ ヒロアキ (東北大)		Carnegie Mellon University, Robotics Institute	惑星探査ロボットの走行システム 設計と制御	CMUでロボットの勉強をしています。研究としては、どうすればロボットが砂の上で滑らずに上手く動けるか、というようなことをやっています。よろしくお願いします。
2013	澤田真行 サエダ マサユキ (東大)		Yale University, Graduate School of Arts and Sciences	労働経済学。人的資本の形成とその役割について。	上智大学経済学部、東京大学院経済学研究科を経て、昨年度に本財団に採用いただきました。YaleのphD学生としての生活も二年目を迎えます。ドロップアウトに怯えつつ過ごしたコースワークの一年を無事通過し、やっと研究らしい時間を作ることができそうです。最近の興味関心は労働市場で学歴が意味を持つメカニズムについて。写真は一年目の締めくくりとなるドロップアウトがかかったComprehensive Examを終えたパーティーにて、ばっちり決めたオーストリア人とのツーショットです。
2013	重本祐樹 シゲモト ユキ (立命館大)		Design Management Group Institute for Manufacturing Department of Engineering University of Cambridge	デザインマネジメント	やや人見知りですが、よろしくお願いします。一度盃を交わせれば少しフレンドリーになります。

Funai Overseas Scholarship 交流会 in Washington D.C. (Aug.1-4,2014)

(敬称略)

年度	氏名/ 出身大学	写真	所 属	研究テーマ	コメント
2013	篠原 肇 シハラ ハジメ (慶大)		ケンブリッジ大学 キャベン ディッシュ研究所	高性能リチウムイオン電池へ向け たリチウム遷移金属酸化物/低次 元量子フラストレーションを中心 とした強相関電子系物質	1988年7月生まれ、黄金の88世代。ノーベル賞 輩出数世界最多の施設であるケンブリッジ大学 キャベンディッシュ研究所所属し、主にリチウム 電池の性能向上に向けた固体化学材料や低次元フ ラストレーションやマルチフェロイクスなどの強 相関電子係に関する物性物理学の研究を行う。ま た、大学および研究所が設置する持続可能エネル ギーのプログラムであるThe Winton Programme for the Physics of Sustainability へ日本人で初めて採用され、グローバル企業や英 国政府関係者らと共に次世代持続可能エネルギー 開発へ向け取り組む。 スポーツにも力をいれ、ケンブリッジ大学体育会 バスケット部、アルティメット部およびコーフボ ール部に所属し、バスケット部の次期役員に内定。コ ーフボールでは得点王やマンオブザマッチを受賞し 、8月にオランダで行われる国際大会に出場決定。 カレッジではミックスネットボールに取り組み、 司令塔としてケンブリッジ1部リーグ優勝へ貢 献。十色会(ケンブリッジ日本人会)2013/2014 年度会長。
2013	曾根 彬 ソネ アキ (慶大)		Massachusetts Institute of Technology, Department of Nuclear Science and Engineering	固体系における量子制御理論	みなさんこんにちわ。私は2013年に慶應義塾大 学理工学部物理情報工学科(専門:量子光学・量子 制御)を卒業し、2014年度よりMITのPaola Cappellaro教授の元で固体系における量子制御 の研究をしています。夢は量子物理学に一生携わ ることです。趣味はピアノ、作曲、美術鑑賞など たくさんあります。皆様、どうぞよろしくお願 い申し上げます。
2013	中村拓磨 ナカムラ タカ (東北大)		ジョージア工科大学 (Georgia Institute of Technology) 航空宇宙工学科 (Aerospace Engineering)	無人航空機 (UAV) の制御の研究	現在UAVを使って高層ビルの窓の掃除ができる ように頑張っています。アマゾンがUAVで荷物 を届けようと頑張っていたり、ドミノピザが宅配 ピザをUAVでやろうとしていたり、UAVは最近 おもしろくなってきたと思っています。あとパイ ロットです。セスナなどの小型機が操縦できま す。人間に生まれたからには空ぐらい飛びたいも のですね。趣味でスキューバダイビングをやって います。自分は6自由度運動が好きなんだと思 います。空も海も自由に動き回れて楽しいです ね。宇宙に行けばもっと境界のない世界が楽し めそうなので、宇宙にも行ってみたいと思 います。

Funai Overseas Scholarship 交流会 in Washington D.C. (Aug.1-4,2014)

(敬称略)

年度	氏名/ 出身大学	写真	所 属	研究テーマ	コメント
2013	前田一輝 ミアカ 加スキ (東大)		カリフォルニア工科大学機械工 学科	1. 液体中における衝撃波による 気泡群崩壊のモデリング及び大規 模数値解析 2. 複雑流体中における波動伝播 の解析及び制御 3. 気泡流の非平衡統計力学	流体力学を専門として勉強中ですが、その他関連 分野(ソフトマター物理学、音響学、材料工学 等)にも広く興味を持っています。よろしくお願 いいたします。
2014	岡本一秀 オカモト 加ビ (東大)		School of Aerospace Engineering, Georgia Institute of Technology	学士: 画像処理・認識を用いた航 空機の制御 修士: 不確実環境下における航空 機の最適制御 留学先: 未定	今夏からジョージア工科大学に留学する岡本一秀 です。グライダーのインストラクターをしていま す。 アメリカではフライトも学業もがんばりたいと 思っています。よろしくお願いたします。
2014	勝谷郁也 カチタニ ムサヤ (大阪大)		Rice University, Electrical and Computer Engineering	「強磁場中THz物性」(日本で は「圧電効果を用いた覚せい剤探 知」)	出身は愛知で大学から大阪です。今はテキサス州 ヒューストンの蒸し暑さに苦しんでおります。
2014	金石大祐 イシノ タクヤ (早大)		University of California, Berkeley Department of Mechanical Engineering	未定 (Human Mechatronics e.g. Mechatronics for human assistance & Exoskeleton Designに興味有)	人間の運動をアシストするロボット(装着型の介 護ロボット等)に興味があり、今秋よりUCBで研 究を行う予定です。ロボットに限らず、自動車 (エコラン)やロケット等にも興味があります。 交流会でみなさんとお話できるのを楽しみにして います。
2014	川上和也 カガキ 加ヤ (東大)		Carnegie Mellon University, Dept. Computer Science	Deep Learning による時系列 データの特徴抽出に関する研究	人工知能に関する研究を行っています。あの人検 索SPYSEEのエンジニアや推薦システムの開発を 行っていました。趣味はスポーツ、書道です。よ ろしくお願いたします。
2014	田中秀宣 タナカ ヒロノブ (京大)		Harvard University / Applied Physics	凝縮系の物理学(より詳細なテー マは未定) 学部時代はスピン-トリプレット 超伝導について研究しておいま した。	多くの粒子から成る集団において、どのような ルールが成り立つのかを考える、凝縮系の物理学 に興味を持っています。趣味はテニス、歌、京都 時代はカフェ巡りでした。 先輩方に色々とお話を伺いたいと思います。よろ しくお願いたします。

Funai Overseas Scholarship 交流会 in Washington D.C. (Aug.1-4,2014)

(敬称略)

年度	氏名/ 出身大学	写真	所 属	研究テーマ	コメント
2009 (欠席)	岩井孝介 イイ コウスケ (東大)		カリフォルニア大学バークレイ校 機械工学科	Droplet-Based Microfluidic Systems: Finger-Powered Pumps, Reactors and Magnetic Capsule	カリフォルニアの穏やかな気候の下で5年間研究を行い、今年の五月に無事に博士号を取得しました。研究内容はマイクロ流体技術、特に微小液滴を用いた生物・医療分野への応用を目指したシステムの開発を行ってきました。卒業後はアメリカ国内でのポスドクを予定しており、生物分野でのより実践的な研究を行うことを計画しています。
【米国大学院学生会】					
	小野雅裕 オノ マサヒロ		NASAジェット推進研究所 Research Technologist	不確定性のある環境下での確率的最適制御、応用は無人飛行機・宇宙機の自動操縦、スマートグリッド、建物の空調の自動制御	
	高野陽平 タカノ ヨシヘイ		ジョージア工科大学 地球大気科学科 博士課程在学中	気候変動が海洋中の物質循環(特に酸素、炭素及び栄養塩の循環)に及ぼす影響の解明	米国大学院学生会の幹事として交流会に参加させていただきます。学生会では主にニュースレターの編集及び大学院留学説明会のサポートを行っております。船井情報科学振興財団のご支援をいただき、今回の交流会に参加させていただく機会を設けていただき大変感謝しております。私の専門である海洋学及び気候力学は環境問題と関連して複合領域を扱っていることもあり、今回の交流会を通して様々な分野の方達とお話ができることを楽しみにしております。
【招待者】					
	金出武雄 カナデ タケオ		カーネギーメロン大学 ワイタカー記念全学教授		
【関係者】					
	益田隆司 マシダ タカシ		船井情報科学振興財団業務執行理事		
	船井顯 フネイ アキラ		船井情報科学振興財団事務局長		
	岡田譲二 オカダ ジョウジ		船井電機(株)取締役執行役員		
	井上昭彦 イノウエ アキヒコ		船井電機(株)OS技術部主任技師		
	豊田 孝 トヨダ タカシ		船井電機(株)開発技術部主任技師		
	大井秀雄 オオイ ヒデオ		船井電機(株)		